

## 令和四年 謹賀新年



福岡県労福協  
理事長 藤田 桂三

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、それぞれの「思い」「決意」を抱き新年をお迎えのことと思います。旧年中は福岡県労福協活動に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

私たち労福協は、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」という理念のもと、現在2030年を目標年次とするビジョンを策定し様々な活動を展開しています。これは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）のもと、2030年までに「誰一人取り残さない」包摂的で持続可能な社会の実現に向けた取り組みと軌を一にするものです。

労福協は、2030年にめざす社会像として、「貧困や社会的排除がなく、人と人のつながりが大切にされ、平和で安心して働きくらせる持続可能な社会」を掲げています。具体的には、①多様なセーフティネットで、働くことやくらしの安心を支える、②労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、くらしをサポートする、③様々なネットワークで、支え合い、助け合う地域共生社会をつくる、④運動を継承・持続するために、人材を育成し、財政基盤を確立するという4項目のビジョンで活動を進めています。

新型コロナウイルス感染症拡大により、社会の脆弱性が浮き彫りとなり、国民生活の様相を一変させました。貧困や格差が広がり、社会の分断や持続性の危機が深刻化するなど将来不安の状況が続いている今、共助・公助の重要性、労働者自主福祉活動の意義と役割が高まっています。

福岡県労福協として、今まで以上に働く仲間や生活者、地域に寄り添い、活動の原点である、人と人との繋がりを大切に、思いやり、支えあい、助け合う組織として、本年もできるかぎりの取り組みを進めます。「今を生きる大人の責任として、未来の子どもたちのために」、今後もともに手を携え頑張りましょう。

結びに、会員・ご家族の皆様のご健勝とご活躍、今後の労福協活動への積極的なご参画をお願いし、新年のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会  
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、国民生活は一変し、格差や貧困、社会の分断が深刻になり、出口の見えない不安な状況が続いています。日本社会の脆弱さが浮き彫りとなった今、公的支援の強化を求め、安心して暮らせる社会にむけて継続的に取り組むことが重要です。コロナ禍の中で立ち上げた、「生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）」には、様々な団体や個人から多くのご協力をいただき、困難を抱える人たちへの生活・就労支援活動を応援してきました。本基金へのご協力に感謝申し上げますとともに、引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

中央労福協は昨年、第3期の奨学金制度改善・学費負担軽減の運動をスタートしました。第一弾の取り組みとして、奨学金返済や保護者の教育費の負担を軽減する税制支援の実現をめざし、オンライン署名を実施しました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。取り組みは、始まったばかりです。誰もが安心して学べる社会に向けて大きなうねりを皆様と作り、共感できる社会運動をめざし進めていきます。

私たちは、コロナ禍により行動が制限される中でも、新たな手法を取り入れるなど、創意工夫を凝らし、運動に取り組んで参りました。これまでの運動で培った経験を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてこのコロナ危機を乗り越えていかなければなりません。そのためには、労福協・労働組合・福祉事業団体が連携し一丸となって取り組んでいくことが必要です。

また、共助の輪を地域に広げ、SDGsがめざす「誰一人とりのこさない」持続可能な社会を創造するために、「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会にむけての労働者自主福祉活動を進めて参ります。「2030年ビジョン」の実現をめざし、ともに前進していきましょう。引き続きの皆様のご支援を申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





福岡県知事  
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。  
 福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、日ごろから労働者福祉の向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。  
 昨年、知事に就任して以来、新型コロナ対策や5年連続となった大雨災害の被災地の復旧・復興に全身全霊で取り組みました。  
 新型コロナ対策については、外出自粛や飲食店の時短営業など厳しい措置に対する県民の皆さま、事業者の皆さまのご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。  
 今後の感染拡大に備え、保健・医療提供体制を強化するとともに、社会経済活動との両立を図り、疲弊した地域経済を立て直していきます。  
 今年の干支「寅年」は、春が来て草木が伸び始めることを表わします。世界を視野に、本県の未来を見据え、発展させていくため、「次代を担う『人材』の育成」、「成長産業の創出」などに重点を置いて取り組み、新しい成長を生み出す年にします。  
 同時に、地方創生の基本である住み慣れたところで「働く」、長く元気に「暮らす」、お子さんを安心して産み「育てる」ことができる地域社会づくりをさらに前進させ、県民の皆さまが安心してたくさん笑顔で暮らせる福岡県にしていきたいと思います。ご支援、ご理解を賜りますようお願いいたします。  
 新年が皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



九州労働金庫福岡県本部  
本部長 西村 芳樹

新年明けましておめでとうございます。  
 日頃より九州労働金庫の推進にあたり、皆様方のご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。  
 昨年は新型コロナ感染防止の対応が厳しく、特に労働組合として最も重要な「集まる事」が抑制される中、会員の皆様には九州労金の様々な新たな対応にご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで大変良い結果を出すことができた1年でした。  
 また、ろうきん運動の継続に向けた各種取り組みを提案させていただきました。会員の皆様にはご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。  
 今年はコロナ過からの立ち上がりで社会・経済共に、大変厳しい環境になる事が推測されますが、労金の将来を見据えた取り組みと、はたらく人にとってもっとも身近な金融機関として、会員との連携を深めて、組合員の生活設計・生活改善・生活防衛のとりくみを推進し、会員と協働した「しあわせ創造運動」を積極的に展開し、福祉金融機関としての社会貢献活動を展開していきます。  
 2022年が会員、組合員およびご家族のみなさん、そしてすべてのはたらく人にとって良い年になることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。



こくみん共済 coop  
福岡推進本部  
本部長 佐田 正二

新年明けましておめでとうございます。  
 組合員・協力団体の皆さまには健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。  
 昨年も新型コロナウイルスの影響を大きく受ける一年となりました。福岡県でも3回の緊急事態宣言が発出され、これまでに経験のない不自由さを強いられた年となりました。世界的なワクチン接種率の向上や経口治療薬の開発による早期の終息が待たれます。  
 一方で、8月中旬には九州北部の広範囲で記録的な大雨となり、筑後川支流の氾濫や土砂崩れ、道路の崩壊などが発生しました。被災された方々には、心からのお見舞いを申し上げますとともに、最後のおひとりまで、共済金のお支払いにむけた対応をすすめてまいります。  
 どうか、本年は災害のない一年でありますことを心より願っております。  
 今後も、組合員・協力団体・関係団体の皆さまとの「つながり」を大切に、常に皆さまから信頼・選択していただけるこくみん共済 coop を目指して、福岡推進本部役員一丸となって努力を続けてまいりますので、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。組合員・協力団体の皆さまにとって、本年が素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





福岡県生活協同組合連合会  
会長理事 堤 新吾

新年あけましておめでとうございます。  
日頃より、福岡県生協連並びに会員生協の事業・活動へのご理解、ご協力に心より感謝いたします。

一昨年から続くコロナ禍は日常を一変させ、業種業態によっては大変厳しい環境の変化が起こり、また日常生活においても、世帯収入が減少するなど、大変厳しい環境におかれた方々も多数あったのではないのでしょうか。

現在ワクチン接種などもあいまって落ち着いている状況ではありますが、まだまだ油断ができる状況ではないと感じているところです。

そのような中、世帯格差や貧困の問題は一層深刻さを増してきていることを実感します。

生協としてSDGsが掲げる、「誰一人取り残さない」という考え方のもと、フードバンク活動にも力を入れてきました。福岡県フードバンク協議会のもとには県内200を超える多くの企業様団体様より、食料の寄付をいただき支援につなげています。

また、九州北部豪雨災害の復興支援で築いた行政やボランティア団体との関係を強化すべく、「災害支援ふくおか広域ネットワーク」に参加し、災害時の復旧復興支援に努めてまいります。

コロナ禍が収まり、今年一年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念いたします。



北九州総合労働会館  
理事長 清田 博巳

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、北九州総合労働会館（通称：真鶴会館）の運営に対して事業団体、労働団体をはじめ会員の皆さま方に、ご支援とご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、一昨年に引き続き緊急事態宣言の間、カルチャー講座を休講しました。さらに、貸し会議室のキャンセルも相次ぐなど、非常に厳しい事業運営となりました。カルチャー講座再開後の利用状況については順調に推移し、会議室の利用も徐々にもどり、厳しい運営の中にあっても安定的な運営になっています。

しかし、九州労働金庫北九州東支店跡(通称中ホール)は、退去後空いている状況であり、入居いただけるテナント等を募集している状況です。一方、大衆演劇の宝劇場が退去した後、大ホールとしてリニューアルオープンをし、以前同様にカルチャーや大会・研修会などにご利用いただいております。さらに、空室の有効活用や適性な会館利用を目指して取り組んでいます。

新たな開館50年に向けて厳しい会館運営が想定されますが、安定的な会館運営となるように努めてまいります。今年も、入館いただいております皆さまをはじめ、勤労者・市民の皆さまが安心して快適にご利用いただけますよう役職員一同、努力をして参る所存です。本年も真鶴会館に対するご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





# profile



〔肩書き〕  
労協の Mascot キャラクター

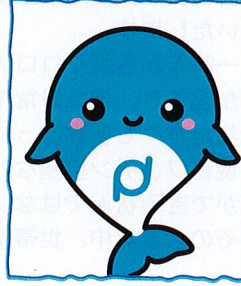
〔お名前〕 きょうちゃん

〔誕生日〕 11月26日

〔属性〕 イルカ

〔性格〕 仲間とコミュニケーションを  
かわし、チームワークが良く、  
人と関わるのが好き♡

Photo



謹賀新年



## 北九州地域労働者福祉協議会

会長代行 清 田 博 巳  
事務局長 遠 藤 禎 幸  
職 員 森 谷 尚 美

## 遠賀川地域労働者福祉協議会

会 長 熊 本 和 正  
事務局長 金 光 千 春  
職 員 大 庭 菜 摘

## 筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会

会 長 小 西 晋 (2022.06~)  
事務局長 中 山 啓 一  
職 員 丸 山 よし子

## 南筑後地域労働者福祉協議会

会 長 深 町 聡一郎  
事務局長 本 田 賢 治  
職 員 浦 濱 明 美

## 京築・田川地域労働者福祉協議会

会 長 中 司 亮  
事務局長 原 田 登喜雄  
職 員 蕨 野 美 穂

## 福岡地域労働者福祉推進協議会

会 長 石 堂 高 大  
事務局長 平 田 貢一郎  
職 員 桑 野 小代里

## 北筑後地域労働者福祉協議会

会 長 國 武 卓 史  
事務局長 西 田 修 三  
職 員 良 永 礼 子

## ライフサポートふくおか

事務局長 木 村 洋 三

一般社団法人

## 福岡県労働者福祉協議会 役職員

職 員	監 事	理 事	専務理事	副理事長	副理事長	理 事 長
小森田 紀子	石 若 原 平 西 金 本 遠 中 清 堤 寺 神 重 藤 吉 眞 二	本 松 田 田 田 光 田 藤 山 田 下 尾 信 和 二	藤 吉 眞 二	西 村 芳 樹	佐 田 正 二	藤 田 桂 三

本年もよろしく  
お願い申し上げます

令和四年 元旦

# 一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

【ホームページ】 <http://fukuoka.rofuku.net/> 【メールアドレス】 [roufuku@h8.dion.ne.jp](mailto:roufuku@h8.dion.ne.jp)

ろうふく協 NEWS  
vol.176

発行 2021年12月27日

発行人 藤田 桂三

編集 藤吉 眞二